

学 校 の あ ゆ み

明治 7 年 9 月 明治 1 1 年	神杉尋常小学校創立(大字高杉神宮寺堂宇) 武田純氏宅を借り教場とする。 ここで成章舎を改め高杉小学校とする。
明治 2 1 年 4 月 明治 3 1 年 1 1 月 5 日 大正 6 年 4 月 1 日	高杉元卿蔵へ校舎を新築に移す。 初めての運動会が行なわれる。 従来の神杉尋常小学校を高杉尋常小学校と改称し高等科を併置する。
大正 7 年 7 月 2 3 日 昭和 1 0 年 1 1 月 2 日 昭和 1 6 年 4 月 1 日 昭和 2 2 年 4 月 2 1 日 昭和 2 2 年 1 2 月 2 3 日 昭和 2 9 年 4 月 1 日 昭和 3 2 年 9 月 2 7 日 昭和 4 2 年 2 月 4 日 昭和 4 5 年 1 1 月 9 日 昭和 4 6 年 7 月 2 1 日 昭和 4 9 年 1 1 月 2 4 日 平成 3 年 3 月 1 6 日 平成 3 年 1 1 月 2 6 日 平成 1 1 年 1 0 月 2 1 日 平成 1 5 年 3 月 6 日 平成 1 5 年 1 1 月 2 0 日	本校校舎落成式 旧木造校舎落成式 神杉国民学校と改称する。 神杉村立神杉小学校と校名を変更する。 P T A 結成 三次市制がしかれ、三次市立神杉小学校と改称する。 学校給食を開始する。 屋内運動場落成式 子ども銀行大臣表彰を受賞。 プール完成竣工式を行なう。 創立 1 0 0 周年記念式典を行なう。 新校舎完成落成式 優良子ども銀行として全国表彰を受賞。 子ども銀行、大蔵大臣・日銀総裁表彰を受賞。 新屋内運動場完成落成式 広島県教育委員会指定平成 1 4 ・ 1 5 年度 育ちをつなぐ幼保小連携教育研究大会実施。 備北教育事務所「キャリア教育」教育実践研究指定 広島県「ことばの教育」ステップ・アップ事業指定、 備北教育事務所教育実践研究校指定（～ 2 0 年度） 三次市学力向上モデル事業指定、排水設備工事 三次市生き生き予算重点校（国語教育推進校） 「山・海・島」体験活動(作木町カヌー公園) 三次市教育研究等指定校(～ 2 7 年度) [優勝旗] 寄贈 三次市「小中一貫教育」モデル地域指定 [校旗] 寄贈 第 5 2 回広島県小学校家庭科教育研究大会(北部大会) 第 2 回みよし教育フェスタ児童発表 プール建設 創立 1 5 0 周年記念式典を行なう。
平成 1 7 ～ 1 8 年度	
平成 1 9 年度 平成 2 2 年度 平成 2 4 年度 平成 2 6 年度 平成 2 7 年度	
平成 2 9 年度 令和 6 年度 1 1 月 3 日	

令和 7 年度 日課表

時 刻	校 時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8 : 1 5	朝 会	読 書	ク リ ー ン	②読み語り ①③④読書 ※必要に応じて変更	ク リ ー ン	①通学班 ②やるソウタイム ③運動 ④音楽
8 : 3 0						
8 : 3 5 8 : 4 5		朝 の 会				
8 : 4 5 9 : 3 0	①校時					
9 : 3 5 1 0 : 2 0	②校時					
1 0 : 2 0 1 0 : 3 5		休 憩				
1 0 : 3 5 1 1 : 2 0	③校時					
1 1 : 2 5 1 2 : 1 0	④校時					
1 2 : 1 0 1 2 : 2 5		給 食 準 備				
1 2 : 2 5 1 2 : 4 5		給 食				
1 2 : 4 5 1 3 : 1 0		休 憩				
1 3 : 1 0 1 3 : 5 5	⑤校時					
1 4 : 0 0 1 4 : 4 5	⑥校時					1 4 : 0 0 ～ 1 4 : 1 5 終わりの会 1 4 : 1 5 ～ 1 5 : 0 0 第 1 委員会 第 2 クラブ
		終わりの会 1 5 : 0 0	終わりの会 1 5 : 0 0	終わりの会 1 5 : 0 0	終わりの会 一斉下校 1 5 : 0 0	1 5 : 0 0



中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価項目
知 確かな学力	主体的に学びに向い、自分の考えを高め、伝えようとする子どもの育成を図る。	基礎・基本の学力の確実な定着、向上を図る。	・「やるソウタイム」の徹底やタブレットドリル等を効果的に活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。 ・I C T を効果的に活用した授業づくりを深化させる。	・三次市学力到達度検査において、（全国平均＋7 点以上）を 60%以上にする。 ・単元末テスト（国語・算数）80 点以上の児童の割合を 70%以上にする。 ・各教科等との関連を図り、各学年 1 単元の単元開発を行う。 ・年間 2 回の児童意識調査を行い、「主体性・表現力・協働性」の肯定的評価を 3 p 以上にする。
		思考力・判断力・表現力の育成を図り、育成すべき資質・能力の向上を図る。	・研究主題に迫る単元開発を図る。 ・達成された姿の明確化及び共有を図り、取組を行う。	・「本を読むことは楽しい」児童の割合を 80%以上に
			・読書活動を充実させ、読書に親しむ機会を多く設け、読書量を増やす。	
徳 豊かな心	友だちの良さを認め合い、かわかり合って前向きに行動できる子どもの育成を進める。	自ら考え、判断・行動できるチャレンジする気持ちを育てる。	・自己選択・自己決定の場を設定し、児童に様々な場面でチャレンジする経験をさせる。 ・協働することの大切さを実感するため、児童会や縦割り班活動の充実を図る。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ① 学習・特別活動等において、自己選択・自己決定を進んで行った。80%以上 ② 友だちと（他学年の人）協働して縦割り班活動に取り組んだ 80%以上
		挨拶や言葉づかい等、場や相手に応じた行動のあり方を考え、人権意識や自己有用感を育てる。	・スマイルカードの取組を充実させ、1 人 1 人の良いところを認め合う活動を充実させる。 ・自分から進んであいさつができるようにする。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ①スマイルカードに友だちのよいところを見つけて書いた。 ②登校時や来客の方に対し、自分から進んであいさつができる。80%以上
体 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	基礎体力の向上を図る。	・運動朝会の内容や方法を工夫し、楽しんで基礎体力を向上できるようにする。	・体づくりに関するアンケートの肯定的評価 80%以上に
		健康に関心をもち、健康な生活をつくろうとする気持ちを育てる。	・「お弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・自分の生活をコントロールする力を育てる。	・生活リズムチェックで、目標を達成できる児童の割合を 70%以上にする。（高学年）
開かれた学校	信頼と協働に支えられた地域とともに成長する学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い、保護者の学校に対する信頼度や満足度の向上をめざす。	・学校 H P や各種通信などで積極的に情報発信を行うとともに、保護者との連携を主体的に進める。 ・学校の相談機能を充実する。（迅速で誠実な組織的対応） ・業務改善をさらに進める。	・保護者の肯定的評価[3・4]を 90%以上とする。 ・職員の超過勤務月 45 時間以内を 100%にする。
		地域とともに成長する学校づくりをさらに進める。	・コミュニティ・スクールとして、小中・地域がさらに連携した取組を進める。	・「子どもの学び応援団」の取組を年間 10 回以上。 ・地域人材を活用した学習活動を各学年・年間 3 回以上。

新しい取組 レベルアップ

神杉小教育の原点		【教育相談窓口】	
子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます		校 長 高下 節雄	教 諭 津山 佳子
		養護教諭 高崎 真帆	
【性暴力・体罰・セクハラ・パワハラ相談窓口】		教 頭 高淵千香子	教 諭 原 勝明
		養護教諭 高崎 真帆	
【障害を理由とする差別解消のための相談窓口】		教 頭 高淵千香子	教 諭 岡田波久美
		養護教諭 高崎 真帆	

三次市立神杉小学校教職員